

広告原稿作成上のお願いと注意事項

2018.6/1

扶桑社 広告部

【原稿審査】

弊社の媒体に初めてご出稿いただく原稿は事前に審査が必要となりますので、弊社担当者までご相談ください。

【入稿方法】

広告原稿のデータ形式、入稿ルールは日本雑誌協会のデジタル・ワークフローのルールに基づく「**J-PDF**」をお願いします。詳しくは雑誌広告デジタル送稿推進協議会のHP「雑誌デジ送ナビ」(<http://www.3djma.jp/>)をご覧ください。

「J-PDF」原稿はデータ、出力見本、仕様書、プリフライトレポートの4点を一式として入稿してください。

データはメディア1点につき1件に限ります。ハガキや片観音などの貼り込み部分は、本誌広告ページとは別進行になりますので、別のメディアに記録して入稿してください。**オンライン送稿**も可能です。

また弊社および印刷所でのデータ修正はできません。

【追い込み(セーフティ)】

原稿作成の際のセーフティは、仕上がり寸法より、天地・左右ともに各 **10mm** 以上に設定し、**切れてはいけない文字**、ロゴ、写真などは、その内に入れないようにしてください。

また、無線とじの場合は、のど部分を糊づけ製本するため、見開き原稿のセンターから左右各 10mm 以内にも重要な絵柄や文字は入れないでください。

【データ制作に関する注意事項】

ブロッキングを防ぐため、4色の網点濃度(インク総量)の合計は **320%以下**になるようにしてください。

白抜き文字はツブレ防止のため、12級(8.5ポイント)以上にしてください。

グラビア印刷は、その特性上、印刷時に若干の見当ずれが出る可能性があります。レイアウトの際には13級(9ポイント)以下の文字・オモテ罫などに対して3色以上の掛け合わせ、抜き合わせ、白抜きなどは避けてください。

10%以下の網点はインクが用紙につきにくくなるなどで色調の再現性が低くなりますので、原稿作成の際の色の掛け合わせは **10%単位**での表現をお奨めします。

またオフセット印刷・グラビア印刷とも、インク、印刷用紙、面付けなどの要因により、本機印刷ではデジタル出力とは多少色調に差異が生じることをご了承ください。

部分広告の裁ち切りは使用できません、すべて囲みケイでの処理をお願いします。

QRコードをご使用の場合は、原則として色文字ではなく**スミベタ1色**をお願いします。

【記事風広告】

記事風純広の場合、提供/社名(またはロゴ)を **12級**(8.5ポイント)以上で入れてください。なお、審査によっては12級(8.5ポイント)以上で「PR」の文字を入れていただく場合があります。

タイアップ広告には必ず、お問い合わせ先/社名・電話を14級以上で表記してください。(ESSEの場合は12級以上)表記方法は媒体によって多少異なりますので、原稿作成前にお問い合わせください。

ESSE掲載の広告ページ・広告ハガキ内で誌名(「ESSE」または「エッセ」)を表記することはできません。「ES」「E」などの略称をお使いください。

【ハガキ】

ハガキはノド側に20mmのノリシロをつけ、入稿時に天地及び表裏の指定を必ずお願いします。

以上